

阪神北県民局地域創生戦略

1 人口対策

阪神北地域では、高度経済成長期の住宅需要に伴い、多くのニュータウンが開発され、良好な住環境を求めて人々が集まり、都市部が成長してきた一方、日本一の里山を擁する六甲・北摂連山と、潤いのある猪名川・武庫川水系を有し、豊かな自然を保全・活用してきた。

このように成熟した都市基盤と心なごませる自然環境が近接、共生し、個性的で魅力ある生活空間を形成してきた結果、地域に愛着を感じる人や、住み心地について満足と感じる人の割合が県下 10 地域においてトップとなっている。

しかし、成長社会から成熟社会へ移行する中で、人口は減少局面に移行し、急速に少子高齢化が進むことにより、オールドニュータウン問題の顕在化や地域の活力低下等が懸念されており、今後、安心して子どもを産み育て、生活することができる環境の充実に努めるとともに、地域の経済活動を担う交流人口の増加や居住者の維持に取り組んでいく必要がある。

① 対応の方向性

- ア) 住環境の良さを内外にアピールし、急速に高齢化が進むニュータウンを中心に、既存ストックの有効活用を図るとともに、地域の再生・活性化を目指す。
- イ) 農業従事者の高齢化により、将来的に担い手不足が懸念されることから、新規就農者を確保し、育成・支援する。
- ウ) 阪神北地域は、他地域に比べて高齢化率が低く、これまで大きな人口減少は見られないものの、急速な高齢化や大都市圏への人口流出が進むと予測されることから、子育て支援の充実や地域の雇用促進等による人口対策を進める。

② 具体的な取組

ア) 良好な住環境を活かした地域の活性化

高度経済成長期に開発されたニュータウン等では、居住世代の偏りから就学や就職、結婚等を契機とした子供世代の流出によって急激に少子高齢化が進んでいる。そのため、今後、空き家の増加や、住宅需要の減退が見込まれることから、地区外からの転入を促し、地域の再生・活性化を図る。

【 参考：今後検討を進めていく主な K P I（重要業績評価指標）及び事業 】

※事業のうち、◎は県民局の新規事業、●は提案事業、○は県民局又は本庁の既存事業を表す。

総括的な K P I

・ニュータウン移住世帯数累計：750 世帯

主な事業・K P I

◎阪神北地域の特徴である良好な住環境のアピール

・“北摂ライフ” PR（鉄道事業者等との連携により、住環境の魅力や里山等の地域資源、各市町子育て施策等を PR）：HP アクセス件数 5,000 件/年

- ・不動産業界等と連携したイベント、見学会等の開催：開催回数3回/年
- ・“北摂ライフ” 現地相談窓口（マッチングシステム）の開設支援
：開設箇所数4か所
- ・地域人材の有効活用：8人
- ニュータウン内の空き家を改修して賃貸住宅にする場合の改修支援：50件/年
- 既存住宅に入居する場合の改修、転居支援（親元近居の場合は優遇）：100件/年
- 空き地、空き家等を活用した生活サービス施設、活動・交流施設の整備を支援
：8件
- 地域による団地再生に向けた検討を支援（コーディネーター派遣、委託費助成）
：2件/年

イ) 都市近郊の優位性を活かした就農人口等増加方策の展開

都市近郊の優位性を活かした農業を振興するとともに、多面的機能を持つ農村の持続性を維持するため、その担い手である新規就農者等を確保する。

【 参考：今後検討を進めていく主なKPI（重要業績評価指標）及び事業 】

- 総括的なKPI**
- ・新規就農者数累計(H21～32)：100人 [H27.3末現在71人]
- 主な事業・KPI**
- 阪神農産物パワーアッププロジェクト(若手農業者等に対するハウス等導入の助成、農大生や農業高校生に対するインターンシップや特別講義の実施)
：助成件数8件/年、実施回数4回/年
 - 農業施設貸与事業(新規就農者等へ設備等を貸与(リース)し、就農開始時に負担となる初期投資の軽減と設備保有リスクを軽減)：貸与件数1件/年
 - 青年就農給付金(新規就農者の就農後の定着を図るため、経営が不安定な就農直後(5年以内)の新規就農者に定額の給付金を給付)
：給付件数3件/年 [H26実績3件]

ウ) 暮らしやすさ等を活かした人口対策の展開

少子高齢化の進展や大都市圏への人口流出により、地域の人口構造・生活環境等が大きく変化する中で、子育て支援策の充実や、地域の雇用促進策等の人口対策を講じる。

【 参考：今後検討を進めていく主なKPI（重要業績評価指標）及び事業 】

- 総括的なKPI**
- ・阪神北地域人口
 - 年少人口：93,122人 [H22：104,747人]
 - 生産年齢人口：431,069人 [H22：463,201人]
- 主な事業・KPI**
- ◎阪神北地域優良企業合同説明会等の開催(首都圏において地元優良企業の説明会開催やUJIターンを望む保護者への情報提供の実施)：参加企業数30社/年
 - ひょうご・しごと情報広場等における就職支援の拡充(現在、若者しごと倶楽部

HPに掲載されている北播磨、西播磨、但馬、丹波、淡路地域のみの UJI ターン就職情報に、新たに阪神北地域の UJI ターン就職情報を追加掲載)

: 情報件数 221,000 件 (有効求人数) /年

- ふるさと企業就職活動支援事業等の拡充 (現在、北播磨、西播磨、但馬、丹波、淡路のみに地域指定されている対象企業を阪神北地域の中小企業に拡充し、UJI ターンによる就職を支援): 選考時旅費助成件数 200 件/年

◎少子化対策ボランティア支援制度の創設: 支援件数 10 件/年

- 子育ての魅力や大家族等を紹介する、少子対策キャンペーンの展開

○阪神北出会いサポートセンター事業の推進: 成婚カップル数 10 件/年

- 阪神北圏域における広域・高度医療確保体制の推進

◎留学生等と地域団体が実施する地域活性化に資する取組への支援

: 支援数 27 団体

- 外国人の就学・定住等の支援策の充実

- 特色ある取組を通じた学校の魅力アップ

2 地域の元気づくり

阪神北地域では、日本一の里山を擁する六甲・北摂連山と、潤いのある猪名川・武庫川水系を有し、豊かな自然を保全・活用してきた。また、成熟した都市基盤と心なごませる自然環境が近接、共生し、個性的で魅力ある生活空間を形成してきた。こうした重要な地域資源である自然環境の恵みを持続的に享受するため、生物多様性を維持・強化する取組等を進めるほか、地域の将来を託す青少年や子どもたちのために、魅力にあふれた地域づくりに取り組み、次世代に受け継いでいかなければならない。

また、産業の高度化やブランド化を更に進めるとともに、環境分野等の新規成長分野への進出を促し、新たな雇用創出を目指す必要がある。商業地域においては、まちのにぎわいづくりや交通ネットワークの充実による交流人口のより一層の増加や、新鮮で安全・安心な農作物の供給を行う。さらに、食育や市民のレクリエーションの場を提供する機能と国土保全機能を併せ持つ農林業については、都市近郊の優位性を活かした新たな振興を図る。こうした取組を通じて、より一層地域の活力を高めていく必要がある。

① 対応の方向性

ア) 重要な地域資源である北摂里山 (先進的里山、まち山を含む) を活かした施策を展開する。

イ) 都市近郊の優位性等を活かした阪神アグリパーク構想の展開により地域の活性化を図る。

ウ) 阪神北地域の各市町が持つ多彩な魅力を県内外・国内外へ効果的に発信する。

エ) 産業の高度化やブランド化を進め、新規成長分野への支援を行うとともに、障害者の就職支援も含めた新たな雇用創出等により経済の活性化に取り組む。

オ) 局地的豪雨や大型台風の襲来による洪水や土砂災害、地震等の脅威から暮らしを守り、安全で安心して暮らせる地域づくりを目指す。

② 具体的な取組

ア) 北摂里山博物館（地域まるごとミュージアム）の新展開

北摂里山の持続的な保全を図り、北摂地域の活性化につなげるため、北摂里山博物館運営協議会を中心に、県民、市町、団体、企業、県民局等が参画し、北摂里山博物館構想を推進する。

【 参考：今後検討を進めていく主なKPI（重要業績評価指標）及び事業 】

総括的なKPI

- ・北摂里山への来訪者数：1,470 千人 [H26：1,400 千人]

主な事業・KPI

- ◎運動習慣と望ましい食習慣の定着を目的とした、里山ハイキング健康づくり事業：参加者数 1,000 人
- 地域に存在する自然、観光資源を積極的に天然記念物に指定し、その重要性を広く周知することにより、住民がふるさとを誇りに思う動機付けを図り、また、その天然記念物の指定を円滑に進める体制整備を推進：天然記念物指定数 4 か所
- ◎新名神 IC から北摂里山街道に誘うウエルカムロードの整備促進
：整備箇所数 4 か所
- ◎里山特産品の PR「里山を食べよう」の展開：PR 件数 3 件/年
- 「新宮晋 風のミュージアム」と連携した情報発信
：イベント参加者 1,000 人/年
- 「のせでんアートライン妙見の森 2015」の開催支援
：来訪者数 15 千人 [H25：10 千人]
- 「北摂里山キャンペーン（仮称）」の開催
：北摂里山への来訪者数 1,470 千人 [H26：1,400 千人]
- 「北摂里山ウォーク」の開催：参加者数 1,000 人
- 「北摂 SATOYAMA 国際ワークショップ」の開催：参加者数 100 人
- 「湿原連携ワークショップ in 北摂」の開催：参加者数 100 人

イ) 阪神アグリパークによる都市農業の魅力アップ

阪神地域の特色を活かした多彩な農畜林産物や「食」に関わる活動拠点をアトラクションとし、地域全体をテーマパークと見立てて策定した“阪神アグリパーク構想”を推進し、県民（消費者）、食関連事業者、農業者が、もっと近づき、交流し、阪神地域の「農」と「食」の魅力を見つけ、活かし、楽しみ、自分の暮らしや仕事、産業、そして社会がよりよくなることを目指す。

【 参考：今後検討を進めていく主なKPI（重要業績評価指標）及び事業 】

総括的なKPI

- ・拠点施設入込者数：2,400 千人 [H26：2,333 千人]

主な事業・KPI

- 阪神アグリな 100 発信プロジェクト（阪神地域の「農業」に関わる人、農畜林産物、魅力的なスポットなどの情報を発信）：発信総数 100 件

- ◎ 阪神ファーマーズまちなかマルシェプロジェクト(都市農業フェアの開催やマルシェの開催)：開催回数 2 回/年
- ◎ 阪神アグリ街道プロジェクト(モデルコースを作成、ツアーを企画し、ツアー実施の支援制度を創設)：3 コース/年
- 阪神版市民農園・観光農園拡充プロジェクト(開設者に対する講習会を開催、施設整備を助成)：講習会開催回数 1 回/年、助成件数 4 件/年
- 阪神農家×事業者マッチングプロジェクト(農家と事業者のマッチング会等を開催し、新たな取引、新商品開発を支援)：新商品開発支援件数 8 件/年
- ◎ 「メイド・イン・阪神」宣言！プロジェクト(地域農産物のブランド化を目指すため、その表示を検討・普及)：表示件数 5 品目
- ◎ 里山特産品の PR「里山を食べよう」の展開：PR 件数 3 件/年【再掲】

ウ) 阪神北地域の新しい魅力アップ

大阪国際(伊丹)空港や、新たに開通する新名神高速道路等の充実した交通基盤と、当地域が有する多彩で魅力的な地域資源を活かしたツーリズム等を展開し、交流人口の増加を図ることにより、地域全体の活性化を目指す。

【参考：今後検討を進めていく主な K P I (重要業績評価指標) 及び事業】

総括的な K P I

- ・ 観光客入込者数：15,500 千人 [H26：13,799 千人]

主な事業・K P I

- ◎ 管内市町の新たな観光資源を発掘するとともに観光情報のパッケージ化を行う広域的観光 PR 等事業の実施(外国人観光客向けの観光ルート開発等)
：観光入込数 15,500 千人/年 [H26：13,799 千人]
- ◎ 観光 PR ホームページ「ぐるっと おでかけ阪神北」の外国人来訪者向けリニューアルの取組(英語版の作成)：HP アクセス件数 70,500 件/年 [H26：61,601 件]
- ◎ 新名神高速道路開通を契機とした地域全体の活性化方策(宝塚 SA やスマートインターチェンジ利用者の観光誘客等につながる事業の展開)
：支援イベント回数：1 回/月
- 北摂観光・アンテナショップ(仮称)の運営(地域特産品の消費拡大並びに地域の魅力や観光情報を広く発信)：開催回数 1 回/年
- 北摂観光キャンペーンの実施(地域資源の周知を図り地域の魅力を広く情報発信)：観光入込数 15,500 千人/年 [H26：13,799 千人]
- 「北摂☆きらっとバス」の運行(地域資源を探訪するバスを運行し地域の魅力を情報発信)：開催回数 4 回/年
- 大阪国際(伊丹)空港の国際便就航に向けた取組(国際チャーター便の運行規制の緩和等)
- 外国語版観光冊子の作成・配布、英語・中国語(繁体字・簡体字)・韓国語版の作成：各 40,000 部
- 外国人観光客おもてなし推進事業(外国人向け誘客体制の整備への支援)
- 商店街免税店拡大による外国人誘客事業(外国人観光客の新たな需要創出)

◎留学生等と地域団体が実施する地域活性化に資する取組への支援

: 支援数 27 団体【再掲】

エ) 阪神北地域経済の活性化

産業構造の改革に取り組み、豊かさと賑わいを創出する阪神北経済を展開していくため、産業の振興や新商品の開発、起業等への取組、障害者の就労等を支援し、地域経済の活性化を図る。

【参考：今後検討を進めていく主なKPI（重要業績評価指標）及び事業】

総括的なKPI

・企業立地件数累計：15 件 [H26：3 件]

・新設事業所数累計：2,580 所

主な事業・KPI

○産業立地条例による企業立地の促進(産業立地を促進するための立地支援施策の実施)：企業立地件数 15 件 [H26：3 件]

○中小企業融資制度の推進(創業、経営革新、新分野進出などへの取組支援)
：経営革新承認件数 7 件/年 [H26：7 件]

○女性・シニア起業家支援助成金(県内で企業を目指す起業家への支援)、ふるさと起業支援助成金(兵庫へUJIターンを希望する起業家支援)、ひょうごチャレンジ起業支援貸付(新たにサービス業などに取り組む起業家への無利子貸付)
：対象 7 団体/年 [H26 実績：3 団体(女性のみ)]

○コミュニティ・ビジネス離陸応援事業の実施(コミュニティ・ビジネスを起業しようとする団体への立ち上げ経費補助)：対象 1 団体/年 [H26：1 団体]

○小規模事業者への経営改善普及事業の推進(商工会議所・商工会が行う経営改善普及事業等への支援)：支援団体数 2 団体/年

○商業・商店街の活性化(商店街の元気づくりにつながる事業への支援)
：支援数 16 団体/年 [H26：16 団体]

○阪神北地域雇用対策三者会議・雇用促進セミナーの開催(地域が抱える雇用問題や対応策等について政・労・使で協議し、県民への理解を深めるセミナーを開催)：開催回数各 1 回/年 [H26：各 1 回]

○若者ものづくり人材確保支援事業(高校生・大学生に対するものづくりの楽しさ等にふれる機会の提供)：セミナー・報告会各 1 回/年、バスツアー 3 回/年
[H26：セミナー・報告会各 1 回、バスツアー 3 回]

○阪神北地域合同若年者就職面接会・企業総合展(仮称)の開催(若年者の安定雇用と中小企業の人材確保、企業間のマッチングを一体的に推進)
：開催回数 1 回、就職者数 14 人/年 [H26：1 回、就職者数 14 人]

◎企業等を活用した障害者就労施設への支援

: 障害者就労施設で働く障害者の平均工賃(月額) 17,000 円

オ) 阪神北地域の暮らしの安全・安心を高める

地域において展開される様々な活動が安全・安心して展開されるよう、局地的豪雨や大型台風の襲来による洪水や土砂災害、地震等の脅威から暮らしを守り、安全で安心して暮らせる地域づくりを目指す。

【 参考：今後検討を進めていく主なKPI（重要業績評価指標）及び事業 】

総括的なKPI

- ・記載事業の計画達成率平均値：90%以上

主な事業・KPI

- 新名神高速道路をはじめとする高規格幹線道路と地域内を結ぶ交通ネットワークの整備（川西インター線、三田西インター線、塩瀬宝塚線等）：整備延長 7,257m
- 河川総合治水対策の推進（武庫川、猪名川流域における河川下水道対策、流域対策、減災対策）：河川対策 1,855m、流域対策 8 か所
- 山地防災・土砂災害対策の推進（砂防えん堤、急傾斜地崩壊対策、六甲山グリーンベルト整備事業等）：6 か所
- 橋梁、トンネル施設の老朽化対策の推進：24 か所
- 安全で快適に自転車や歩行者が通行できる自転車安全快適空間モデル事業の推進：整備延長 2,000m
- ◎防災に関する総合出前講座等の充実：開催回数 10 回/年
- ため池管理者だけでなく地域住民も参画した、ため池管理の啓発や重点整備ため池の改修：8 か所
- 自主防災組織避難訓練等補助：55 件/年